

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 毎年5月
 基準日 定時株主総会 毎年2月末日
 期末配当金 毎年2月末日
 中間配当金 毎年8月末日 ※但し、平成25年は、8月20日といたします。
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
 公告方法 電子公告により行います。
<http://www.unygroup-hds.com/koukoku/index.html>
 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

上場証券取引所 東京・名古屋(国内市場)
[株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について]
 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人事務取扱場所(郵便物送付先) 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) ☎ 0120-782-031
 (インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

[特別口座について]
 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

[単元未満株式の買取・買増請求について]
 単元未満(1~99株)株式をご所有の株主様は、当社に対してその単元未満株式の買取(ご売却)または、「その単元未満株式数とあわせて1単元(100株)となる株式数」の買増(ご購入)を請求することが可能です。
 お手続きの詳細につきましては、
 ・証券会社に口座をお持ちの株主様の場合は、お取引のある証券会社にお問合せください。
 ・証券会社に口座を開設されていない株主様の場合は、上記の株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関にお問合せください。

※平成25年5月16日開催、第42回定時株主総会決議により決算期を変更いたしました。決算期変更の経過期間となる第43期事業年度は平成25年2月21日から平成26年2月28日までの1年8日間となります。また、第43期事業年度の中間配当金の基準日は平成25年8月20日となります。

株主優待制度導入
 株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社開発商品をお使いいただくことにより株主様とのコミュニケーションを図り会社経営に理解を深めていただき、当社株式への投資の魅力を高め中長期的に当社株式を保有していただける株主様を増やすことを目的とし、**平成26年2月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された1単元(100株)以上を保有する株主様を対象に開始いたします。**

保有株数	優待内容
100株以上1,000株未満	ユニグループ商品券1,000円分又は同額相当分の当社開発商品(「StyleONE」「PrimeONE」)詰め合わせ
1,000株以上	ユニグループ商品券3,000円分又は同額相当分の当社開発商品(「StyleONE」「PrimeONE」)詰め合わせ

ホームページをご利用ください <http://www.unygroup-hds.com>

当社ホームページでは、財務情報をはじめ、店舗情報、グループ会社情報など幅広い情報を掲載しております。また、インターネットショッピングサイトも開設し、皆さまの利便性の向上に努めております。ぜひご利用ください。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

ユニグループ・ホールディングス株式会社
 〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
 TEL (0587) 24-8000 (代表)

株主の皆さまへ

第43期 中間報告書

平成25年2月21日から平成25年8月20日まで



毎日が、あなたの日。



あなたの充実した今日を、大きな喜びで満たしたい。

あなたの心ときめく明日に、確かな安心を届けたい。

あなたの毎日を真剣に愛することから、新生活創造は始まります。

ユニグループ・ホールディングス株式会社

証券コード 8270



代表取締役会長 前村 哲路

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第43期中間決算（平成25年2月21日から平成25年8月20日まで）のご報告をするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

さて、日本経済は、新政権による経済政策により円安・株高が進み、景気回復への明るい兆しが見え始めておりますが、輸入燃料、原材料価格の上昇や新興国の成長鈍化など依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループが属する小売業界におきましても、株価上昇や景気回復への期待感による消費意欲の高まりは見られましたが、雇用環境や個人の所得は低迷したままであり、個人消費全般を押し上げるまでには至りませんでした。加えて、同業他社や他業態との競争激化など、引き続き厳しい状況が続きました。

このようななか、当社グループは、当年2月21日に総合小売業とコンビニエンスストア事業を中心としたグループ体制の強化及びグループ全体の企業価値の最大化を図るため、純粋持株会社体制に移行し、グループ企業価値の益々の向上に努めてまいりました。

業績におきまして、ユニー株式会社は、当年2月21日

の会社分割により当社の総合小売業等の事業部門を承継し、ユニーグループの事業会社の一員として、今後ともシナジー効果の最大化を目指し、「お客様のより良い生活実現のために奉仕する」ことをお客様に対する変わることのない理念として、また、企業ビジョンの「新生活創造小売業」の実現に向け、各出店地域においてお客様から信頼される小売業を目指して、さまざまな取り組みを展開しました。GMS（総合小売業）業態のアピタは、『日常生活向上店』として、生活解決、生活提案に力を入れました。SM（スーパーマーケット）業態のピアゴは、『日常生活便利店』として、生活コスト引き下げに力を入れ、毎日楽しくお買物ができる、身近で心地の良い店舗を目標としてきました。また、ユニーグループ・ホールディングス誕生記念企画として、総額2億円をお客様へ還元する『プレミアムお買物券付ユニーグループ商品券』の販売などを実施しました。今後も年間を通してユニーグループ・ホールディングス誕生をテーマとした、さまざまな営業活動を展開していきます。また、既存店売上高につきましては、特に食品において、PB商品の拡販及びUCSカード会員対象企画の販促策の寄与などにより好調に推移しました。

株式会社サークルKサンクスは、女性層やシニア層をはじめとした客層の拡大を目指し、アイランドチルドケースや冷凍平台ケースの導入を進め、既存店のミニスーパー化を図りました。株式会社さが美は、40周年特別企画の優良顧客向け展示販売会や例年開催の宿泊総合展示販売会が大変好評でした。株式会社パレモは、郊外主力事業のマーチャンダイジング強化ならびに、独自の商品企画開発の強化を背景とした直接貿易の拡大等により、収益性の向上に取り組みました。株式会社UCSは、カード事業の包括信用購入あっせんにおいて、個人消費の持ち直しやグループ営業企画等が好調に推移し、取扱高が大幅に増加しました。

しかしながら、消費者の節約志向が続き、グループ連結につきましては、減収減益を余儀なくされました。

なお、当中間期の配当につきましては期初予想通りの1株につき12円とさせていただきます。

当社グループは、純粋持株会社設立の目的である「グループシナジーの最大化」「グループの方向性の明確化」「グループ経営資源の最適配分」を実現することにより、グループ企業価値の向上を図る所存でございます。

株主の皆さまには、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年10月

商品開発戦略

より良くらしをかなえるため、商品開発に力を入れてユニーグループ全体で展開しております。開発商品「Style ONE」「Prime ONE」を、全国のユニー株式会社、株式会社サークルKサンクス、株式会社99イチバの各店舗にてお客様へお届けいたします。



節約はしたいけれど、ガマンはしたくない。安さに魅力を感じるけど品質にはこだわりたい。毎日楽しく、賢く、暮らしたい方の満足にお応えできるこだわりの商品を取り揃えました。



「産地」や「素材」にこだわった、確かな品質の価値訴求型『新生活創造』ブランド。毎日の生活を豊かで楽しく暮らしたい方に、手の届く最高の満足をご提供いたします。

*下期より商品特性重視のデザインへリニューアルいたしました。

- ① お客様の不満の解消（品質・価格・機能）
- ② 女性をターゲットにやさしい商品づくり
- ③ おいしさの伝わるデザイン
- ④ 生活シーンに馴染むデザイン
- ⑤ 環境に配慮



商品開発の環境整備

平成25年5月、お客様にさらに満足していただく商品開発を行うため、お客様目線でユニーグループの女性従業員約260名が商品を試し、意見を出す仕組み「スタイルワン研究所」*1を立ち上げました。

また、同年9月に企画から商品化までを統合して管理することにより、商品開発力強化と開発期間の短縮を図り、お客様ニーズに迅速対応できる体制づくりを目指して「マーケティングルーム」*2を開設いたしました。

この「マーケティングルーム」を活用して、既存商品や試作品の試食・試用を実施し、使用感や売場での見せ方など、「スタイルワン研究所」の女性によるきめ細かい視点で商品開発を進めてまいります。

*1 スタイルワン研究所…働く女性や経験豊富な主婦から、既存商品や試作品の試食・試用を通じてさまざまな意見を集約し、商品のデザイン・機能・食味などに反映させていきます。

*2 マーケティングルーム…お客様ニーズの分析・商品企画・商談・試食・パッケージデザインの開発・売場イメージの統一など商品化までの流れを一元管理いたします。



営業の概況 (連結)

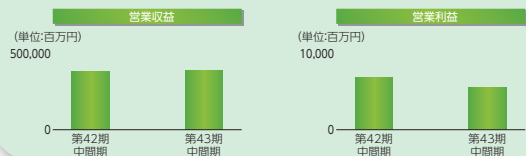
■ セグメント別の業績の動向

【総合小売業】

衣料品、住居関連品、食料品等の小売業

営業収益**3,896億49百万円** (前年同期比 +0.2%)
営業利益**55億97百万円** (前年同期比 -19.7%)

総合小売業は営業収益3,896億49百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益55億97百万円(前年同期比19.7%減)となりました。当セグメントの営業費用は、「ローコスト経営」の継続に努めましたが、電気代の値上げ等による水道光熱費の増加や広告費の増加などにより、3,840億51百万円(前年同期比0.6%増)となりました。

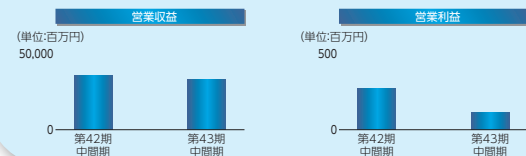


【専門店】

呉服、婦人服等の専門小売業

営業収益**330億64百万円** (前年同期比 -7.7%)
営業利益**1億11百万円** (前年同期比 -59.7%)

専門店の営業収益は330億64百万円(前年同期比7.7%減)、営業利益1億11百万円(前年同期比59.7%減)となりました。



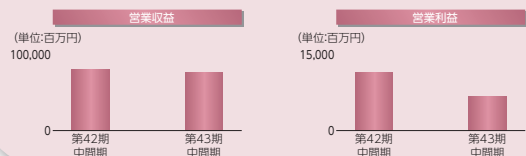
【コンビニエンスストア】

フランチャイズシステムを主とするコンビニエンスストア事業

営業収益**768億78百万円** (前年同期比 -5.3%)
営業利益**67億1百万円** (前年同期比 -41.6%)

コンビニエンスストアは営業収益768億78百万円(前年同期比5.3%減)、営業利益67億1百万円(前年同期比41.6%減)となりました。

当セグメントの営業費用は、自営店関連経費を中心に削減に取り組みましたが、既設店の政策的なりリニューアル費用等の増加により、701億76百万円(前年同期比0.7%増)となりました。



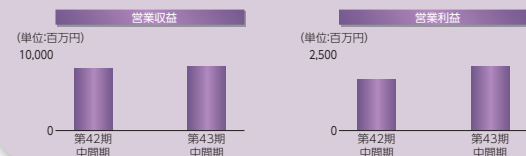
【金融】

クレジットの取扱業務・保険代理業・リース取引

営業収益**85億3百万円** (前年同期比 +2.5%)
営業利益**21億16百万円** (前年同期比 +26.0%)

金融の営業収益は85億3百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益21億16百万円(前年同期比26.0%増)となりました。

当セグメントの営業費用は、包括信用購入あっせん取扱高の好調によりポイント費用等は増加しましたが、延滞債権残高の減少等による貸倒関連費用の減少により、63億87百万円(前年同期比3.4%減)となりました。



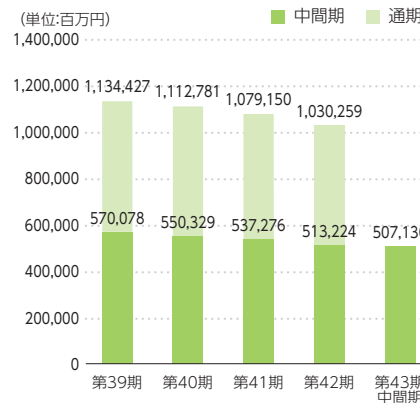
財務諸表 (連結)

中間連結貸借対照表

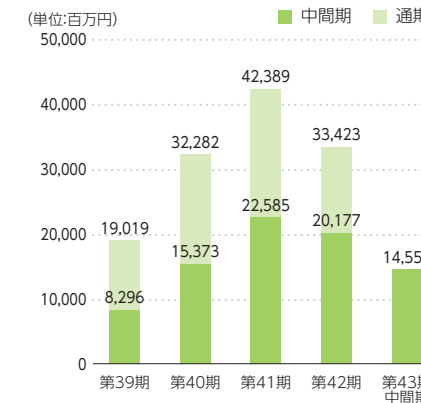
(単位:百万円)

	当上半期 平成25年8月20日現在	前上半期 平成24年8月20日現在
【資産の部】		
流動資産	202,094	208,271
固定資産	648,894	632,706
有形固定資産	465,037	447,004
無形固定資産	26,869	31,246
投資その他の資産	156,988	154,454
資産合計	850,989	840,977
【負債の部】		
流動負債	300,473	284,105
固定負債	242,529	249,009
負債合計	543,003	533,114
【純資産の部】		
株主資本	294,851	291,160
資本金	22,187	22,187
資本剰余金	70,883	70,883
利益剰余金	203,038	199,345
自己株式	△1,258	△1,255
その他の包括利益累計額	3,503	△65
その他有価証券評価差額金	4,416	1,847
繰延ヘッジ損益	22	22
土地再評価差額金	△304	△419
為替換算調整勘定	△630	△1,514
少数株主持分	9,631	16,768
純資産合計	307,985	307,863
負債及び純資産合計	850,989	840,977

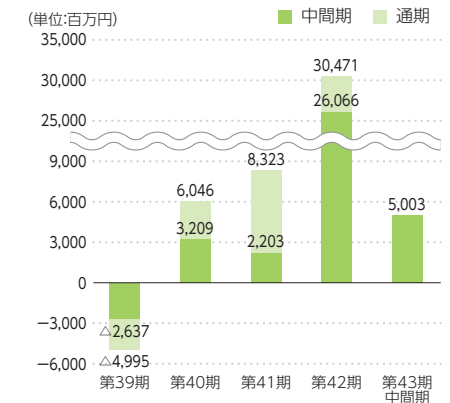
営業収益



経常利益



中間(当期)純利益



中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	当上半期 自平成25年2月21日 至平成25年8月20日	前上半期 自平成24年2月21日 至平成24年8月20日
売上高	420,895	425,451
売上原価	309,281	311,855
売上総利益	111,613	113,596
営業収入	86,234	87,773
営業総利益	197,848	201,369
販売費及び一般管理費	182,975	180,577
営業利益	14,873	20,792
営業外収益	1,759	2,123
営業外費用	2,081	2,738
経常利益	14,551	20,177
特別利益	1,373	16,602
特別損失	7,058	3,745
税金等調整前中間純利益	8,867	33,034
法人税、住民税及び事業税	5,135	4,663
法人税等調整額	△1,344	1,580
少数株主損益調整前中間純利益	5,076	26,791
少数株主利益	73	725
中間純利益	5,003	26,066

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当上半期 自平成25年2月21日 至平成25年8月20日	前上半期 自平成24年2月21日 至平成24年8月20日
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,840	19,487
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,975	△83,845
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,679	△63,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	756	37
現金及び現金同等物の増減額	△6,057	△127,721
現金及び現金同等物の期首残高	7,075	140,357
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△82
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,018	12,553

(注) 記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

ユニー株式会社

FAPRA賞「環境・社会貢献賞」を受賞

ユニー(株)は、小売流通分野にて環境への顕著な貢献を行っているとして、平成25年9月、第16回アジア太平洋小売業者大会(イスタンブール大会 トルコ)において、日本の小売事業者から唯一FAPRA賞「環境・社会貢献賞」を受賞いたしました。



ユニーグループ・ホールディングス前村会長(写真右)

認知症の方へのお買い物サポート

高齢化社会が進みつつある中で、ユニー(株)は認知症の方にもお買い物を楽しんでいただけるよう、サポートしています。従業員に認知症への理解と見守りの役割を担ってもらうための教育を行い、店内での困りごと対応やお手伝いで支援しています。また、一般のお客様にもご理解・協力をしていただくために、店内で認知症支援のボランティアや市の職員、支援大学と一緒に買い物サポートイベントを開催しています。



紙芝居で認知症について説明

農林水産大臣賞を受賞

ユニー(株)は、「エコ・ファーストの約束」に基づき、店舗所在地の1府18県(福島県を除く)で食品リサイクルグループを構築し、食品廃棄物の再資源化と地域循環型農業の実施を成し遂げたことを認められ、第34回食品産業優良企業等表彰「環境部門」で農林水産大臣賞を受賞いたしました。



ユニー(株)佐古社長(写真右)

Make a CHANGE Day 奨励賞を受賞

ユニー(株)では毎日店舗や事業所周辺の清掃や除草の活動を行っていますが、6月の環境月間、10月の3R推進月間には活動範囲を近くの公園や道路などに広げ、全店一斉クリーンアップキャンペーンとして実施しています。この活動が評価され、「愛・地球博ボランティアセンター Make a CHANGE Day実行委員会」から奨励賞を受賞いたしました。この賞は「人の気持ち」に変化を起こし、自らの参画で「社会」に変化を起こそうという主旨で行われているものです。



全店で実施しました

株式会社サークルKサンクス

新しいコンビニエンスストアづくり

(株)サークルKサンクスでは、小商圏内でのお客様の多様なニーズにお応えするべく、めざすべきビジョンを「いちばんの満足をお客様に」と定めています。地域一人ひとりのお客様に「いちばんの笑顔」「いちばんの品揃え」などさまざまな「いちばん」を提供し、いちばんの満足をしていただけるお店づくりに取り組んでいます。また、生活者視点で使いやすさを追求し、幅広い層のお客様により便利にご利用いただけるお店をめざして、従来のコンビニエンスストアの枠を超える新しい形態の店舗の出店を進めています。



ミニスーパー型



特殊・ミニタイプ

東北復興応援ツアーを開催

平成25年5月11日には、20組40名の親子を無料招待した「行こうよ!みやぎ田植え体験&観光地ツアー」を開催いたしました。このツアーは、親子で楽しく農業を体験し、食育を学んでいただくとともに、宮城県の観光を通して、東北地方の復興に貢献することを目的としています。参加した小学生のアンケートでは、「泥んこになったけど楽しかった」等の田植え体験の感想のほか、東北の方々への応援メッセージが多数寄せられました。



(株)サークルKサンクス竹内社長(写真左)

会社の概要 (平成25年8月20日現在)

社名	ユニーグループ・ホールディングス株式会社
本店所在地	〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地 TEL (0587) 24-8000 (代表)
設立	昭和25年3月13日
資本金	22,187,865,810円
従業員数	36,389名(連結) (パートタイマー等の期中平均特勤者数を含む)
事業内容	総合小売業、コンビニエンスストア、都市型ミニスーパー、専門店、金融サービス、サービス、ディベロッパーなど各事業を中心とした企業グループの運営企画・管理(純粋持株会社)

役員 (平成25年8月20日現在)

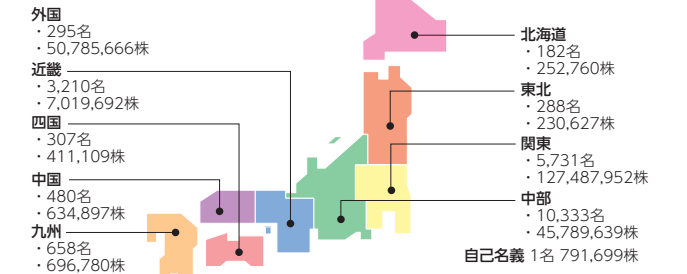
前村 哲路	代表取締役会長最高経営責任者 (CEO)
中村 元彦	代表取締役社長最高執行責任者 (COO)
越田 次郎	専務取締役最高財務責任者 (CFO)
山田 克巳	常務取締役
梅本 稔	取締役
高橋 順	取締役
佐古 則男	取締役
竹内 修一	取締役
古角 保	取締役
吉田 龍美	常勤監査役
伊藤 章	常勤監査役
丹下 幾夫	監査役
南谷 直毅	監査役

(注) 1. 取締役古角保氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役丹下幾夫、南谷直毅の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
3. 当社は、監査役丹下幾夫、南谷直毅の両氏を東京証券取引所および名古屋証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

株式の状況 (平成25年8月20日現在)

■ 株式の総数	
発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式の総数	234,100,821株
株主数	21,485名
■ 大株主 (単位:千株)	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22,984
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,846
日本生命保険相互会社	7,657
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,146
伊藤忠商事株式会社	6,992
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5,703
第一生命保険株式会社	5,000
ユニー第二共栄会	4,419
東京海上日動火災保険株式会社	3,819
ユニー持株会	3,331

■ 地域別分布状況



■ 所有者別分布状況

